



きままに川柳

お題「風邪」

お便り日和

テーマ「お世話になりました」

あちらの世界の叔父へ

甥っ子

今年、叔父が66歳で他界しました。父親を早くに亡くした私たち兄弟をかわいがってくれて、

自分の子どもの事のように喜んでくれたり、ときに真剣に怒ってくれたりもしました。人並みに大きくなれたのも叔父のおかげだと思っています。冗談を言うのが好きな叔父で、会うたびにここぞとばかりに喋ってくるので、正直うっとうしいところ

があり、あらたまって感謝の言葉を言う事ができませんでした。叔父が運ばれた病院に着くと、そんな叔父が一言も話さずにい

老いの会笑い葉が風邪飛ばす

常日頃喉鼻ウガイ医者知らず

くしゃみする三惚れられて我慢して

連続のクシャミ鼻水風邪の宿

我慢して伊達の薄着で風邪をひき

風邪うつるそれでも幸せ初キッス

びきをかいて寝ており、そのま

ま意識が戻らず、その日に旅立ちました。あまりに急で、言いたかった感謝の言葉の何分の1も言えませんでした。

土岐市民ではない叔父が広報ときを知っていたか疑問ですが、感謝の気持ち文字にしたいので、投稿しました。

「おじさん、父が亡くなってからの32年間、本当の子のように接してくれてありがとう。僕の本当の父親だと今でも思っています。本当にお世話になりました」

(編)おじさんへの思いが、文字数の制限を取り払いました。

丹羽つね代

ジョージ

月丘夢子

足立昌代

ラン

チバにゃん

いつもありがとう!!

M K

軒下の網目コンテナの中には4キロを超える大きな鶴首カボチャや宿儺カボチャなどがいっぱいあり。別の容器にはサトイモがいっぱい洗われている。台所には大きなダイコンやハクサイ、シユンギク、ネギ、シイタケが。別棟にはお米とジャガイ

モとタマネギが保存されている。全部、夫が田畑を耕して作った物ばかり。梅干しもラッキョウも漬けもカブの柚子漬も夫任せの私はただ、美味しいと言っ

て食べるのみ。

感謝しています

プクプクさん(土岐津町)

仕事で帰宅時間がいつも遅く、家のことは全て妻に任せっきり。子どももまだまだ手のかかる年齢で、毎日バタバタと忙しいだ

ろうけど、不平も言わず起きて待つてくれています。

「い」と自分を正当化してしまうけど、安心して仕事ができるのも、妻のおかげです。まだ少し早いです。今年もお世話になりました。来年もよろしく願います。

1月1日号の投稿募集

お便りテーマは「こんな年になったらいいな2015」です。新年への抱負や期待することなど自力・他力を問いません。あなたが望む2015年を200字以内(タイトル別)でお寄せください。

川柳のお題は「お年玉」です。(1人1句)

締め切りは12月17日(水)です。

■応募・問い合わせ

住所・氏名またはペンネームを明記し、秘書広報課広報広聴係へ。

〒509-5192(住所不要)

☎1111(内線185) / FAX 7763

✉koho@city.toki.lg.jp

※応募多数の場合は採用されない場合があります。また、お便りについては、採用に当たり趣旨を変えない程度で表現を変更する場合がありますので、ご了承ください。掲載の際に投稿者へのご連絡は行っていません。